

# 平成 22 年度 検査研究部門研修会

生涯教育研修課程：専門教科 30 点

テーマ	一般検査から疾患を考える術を習得する～トキめきセミナー(新潟～ 膨らまそう！ 一般検査から見える疾患 (形態検査部門：一般検査領域)	
会 期	平成 22 年 7 月 17 日 (土)・18 日 (日)	
会 場	新潟大学医学部医学科研究棟 〒951-8510 新潟県新潟市中央区旭町通一番町 757 TEL 025-223-6161(代表)	
内 容	第一日目	<p>8：30～ 受付 (敬称略)</p> <p>9：00～ 9：30 開講式・オリエンテーション</p> <p>9：30～10：30 腎臓病と尿解析 (尿赤血球・尿蛋白泳動・尿免疫細胞解析が示す腎病態) 新潟大学医歯学総合病院第二内科 坂爪 実</p> <p>10：40～12：00 検査データから病態情報へ ～腎障害における検査室・技師のあり方を考える～ 金沢赤十字病院 油野 友二</p> <p>13：00～14：00 尿沈渣検査 実施前の心構えと予備知識 厚生連広島総合病院 山下 美香</p> <p>14：10～15：30 やって楽しい、見て楽しい寄生虫検査 (症例を中心とした検体の取り扱い方と検査の進め方) 大原総合病院 赤間 孝紀</p> <p>15：40～17：00 一般検査からはじめる髄液と体腔液 弘前市立病院 石山 雅大</p> <p>17：10～18：10 髄液と体腔液の塗抹標本作製法 諏訪中央病院 保科 ひづる</p> <p>18：10～18：20 オリエンテーション (翌日の実習について)</p>
	第二日目	<p>8：30～ 受付・オリエンテーション</p> <p>9：00～16：30 鏡検実習 標本から病態を考える ①尿沈渣 (基礎成分) ②尿沈渣 (症例) ③髄液・体腔液 ④寄生虫 *実習 4 グループによるローテーション 実習責任者 ①尿沈渣基礎 (坂牛) ②尿沈渣症例 (宿谷) ③髄液・体腔液 (保科) ④寄生虫 (赤間)</p> <p>16：30～17：10 レクチャータイム(質疑応答含む)</p> <p>17：15～17：30 閉講式</p>
募集人員	100 名 (定員になり次第締切)	
参加資格	社団法人 日本臨床衛生検査技師会 会員	
受講料	20,000 円	
申込期間	5 月 15 日(土)以降から受付開始	
申込要領	「研修会申込書」に必要事項をご記入のうえ、郵送で下記までお申込みください。 後日、研修会のご案内をお送りします。	
申込先	〒950-2022 新潟市西区小針 3-27-1 厚生連新潟医療センター臨床検査科 担当者 佐藤 卓 TEL (代表) 025-232-0111	
宿 泊	各自で手配してください。	
主 催	社団法人 日本臨床衛生検査技師会	